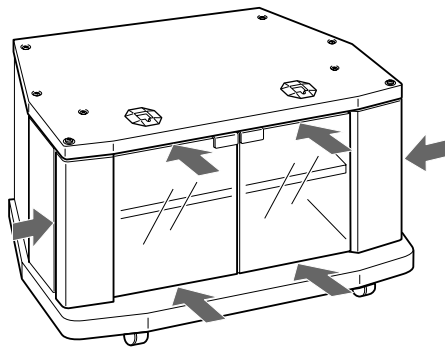


使用上のご注意

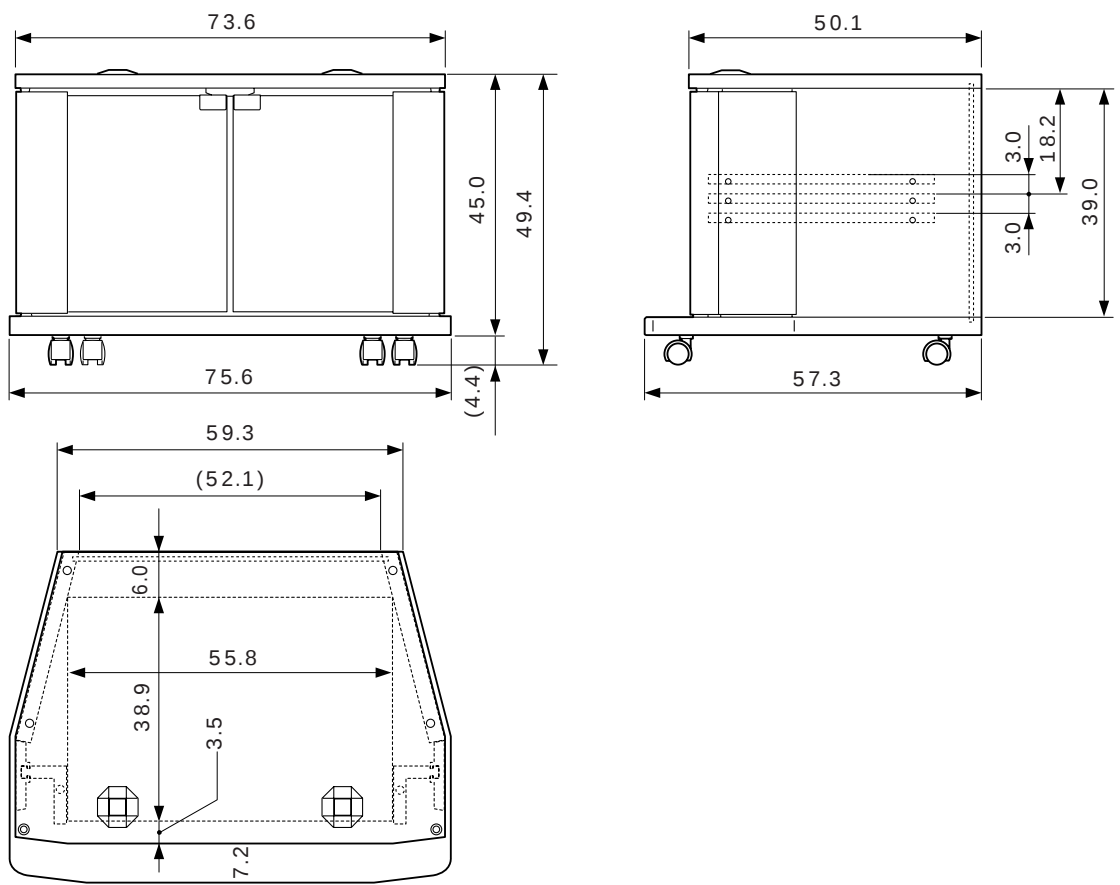
- ・ 組み立てるときや、ガラス扉の開閉時に、扉の隙間(図の矢印の部分)に指などはさまないよう注意してください。
- ・ 設置場所について
設置場所によってはスタンドの変形や傾きが生じることがありますので下記のことをお守りください。
 - 堅くて平坦な床面への設置
 - 畳の上に置く場合は板など堅い物を敷く
 - 直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない
 - 高温多湿の場所や屋外に置かない
- ・ テレビを載せたまま移動するときは、テレビの落下を防ぐためスタンド部分を押すか、スタンドごと持ち上げるようにして移動してください。
- ・ 加熱した鍋、湯沸し等、熱いものを直接スタンドに置かないでください。熱により変色、変形することがあります。
- ・ 美しい状態でお使いいただくためときどき柔らかい布で、から拭きしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5～6倍に薄め、柔らかい布に含ませて軽く拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの化学薬品はスタンドの仕上げを傷めることがありますので、使わないでください。



主な仕様

単位：cm

質量：20.8kg



本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはお客様相談センターへ ●東京(03)5448-3311●名古屋(052)232-2611●大阪(06)539-5111

SONY

3-859-146-12 (1)

テレビスタンド

SU-28SF1

取扱説明書

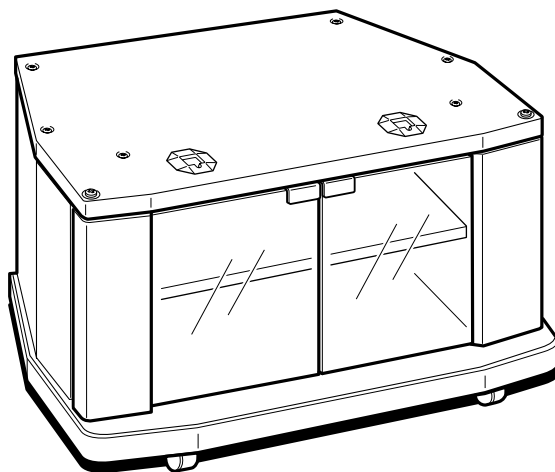
お買い上げいただきありがとうございます。

警告 安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このテレビスタンドは、ソニーのカラーテレビを上に乗せ、棚板にはビデオデッキやビデオディスクプレーヤーなどを収納するように設計されています。

対応テレビ：KV-28SF1
KV-28SF3
KV-28SF5



Sony Corporation © 1997 Printed in Malaysia

総積載量についての注意

載せる機器の総質量が110kgを超えないようにしてください。また、それぞれの板には、図に示す質量以上のものを載せないでください。板を壊すおそれがあります。

テレビを固定する

固定しませんと、テレビが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

テレビを傾ける

傾けませんと、テレビが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

テレビを傾ける

傾けませんと、テレビが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

テレビを傾ける

傾けませんと、テレビが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

テレビを傾ける

傾けませんと、テレビが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

テレビを傾ける

傾けませんと、テレビが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

テレビを傾ける

傾けませんと、テレビが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

テレビを傾ける

傾けませんと、テレビが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

テレビを傾ける

傾けませんと、テレビが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

テレビを傾ける

傾けませんと、テレビが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

テレビを傾ける

傾けませんと、テレビが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

テレビを傾ける

傾けませんと、テレビが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

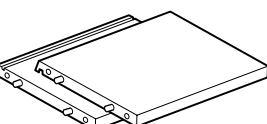
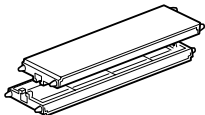
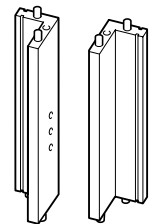
テレビを傾ける

傾けませんと、テレビが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

テレビを傾ける

傾けませんと、テレビが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

部品表

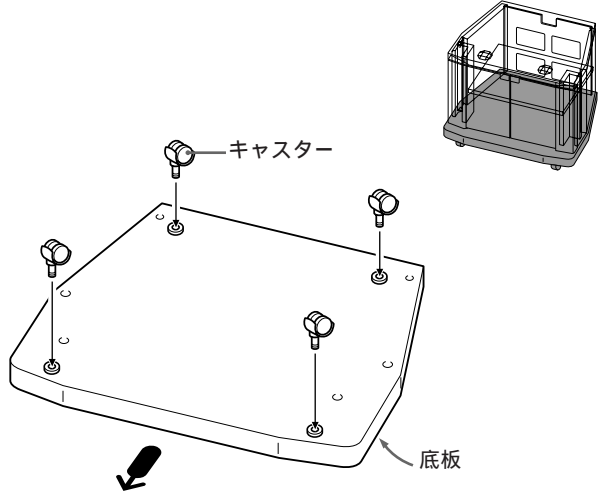
名称		数量
天板		1
底板		1
後側板		2
飾り側板		2
前側板		2
棚板		1
裏板		1
飾り扉		2
ガラス		2
キャスター		4
部 品 袋	マグネットキャッチャー	2
	スペーサーパッド	2
	棚ダボ	4
	ネジ	12

組み立て手順

← 矢印は前面方向を示します。

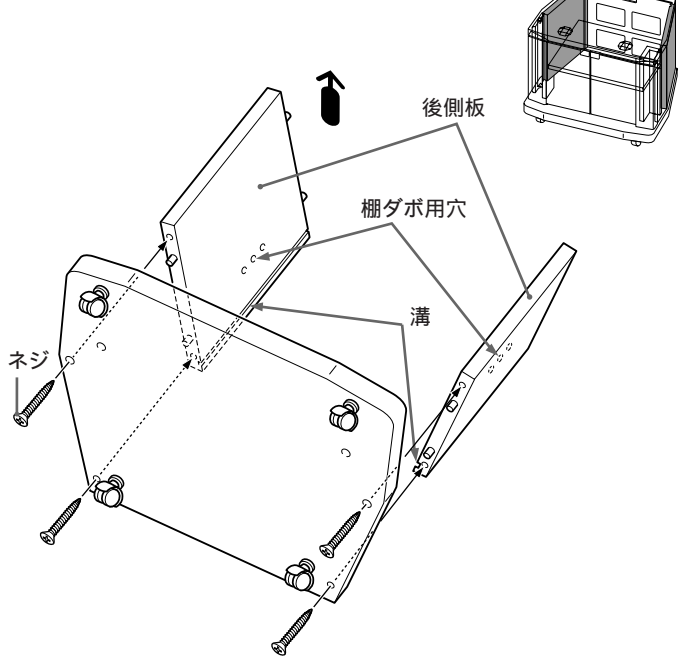
1 キャスターを取り付ける。

“カチッ”と音がするまで強く差し込んでください。



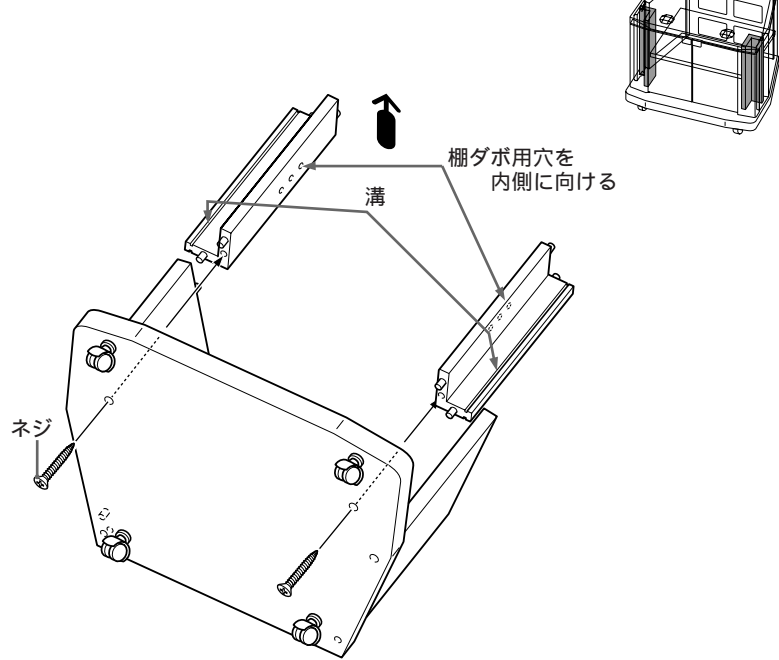
2 後側板を取り付ける。(左右共通です。)

溝が後ろに、棚ダボ用穴が内側になるよう注意して組立ててください。



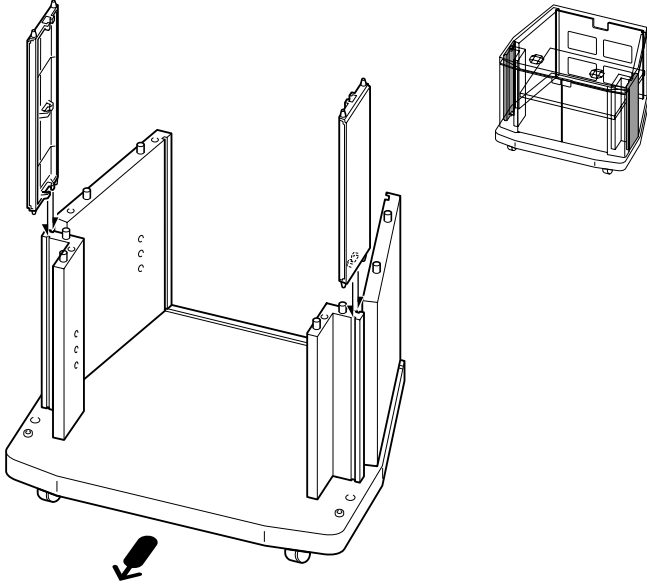
3 前側板を取り付ける。(左右共通です。)

棚ダボ用穴が内側になるように組み立ててください。



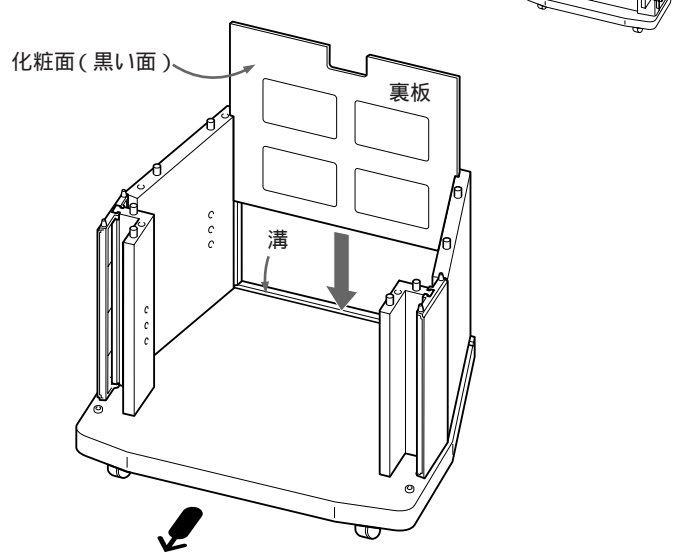
4 飾り側板を取り付ける。(左右共通です。)

前側板の溝に合わせてはめ込んでください。



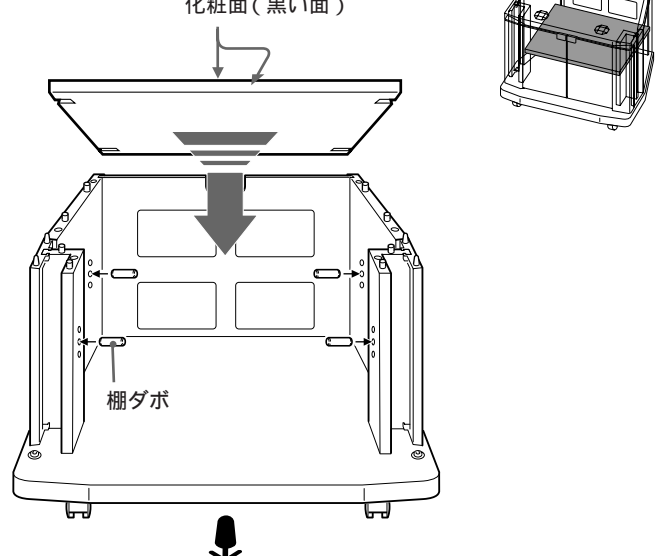
5 裏板を取り付ける。

裏板を底板の溝にきちんと入れて下さい。



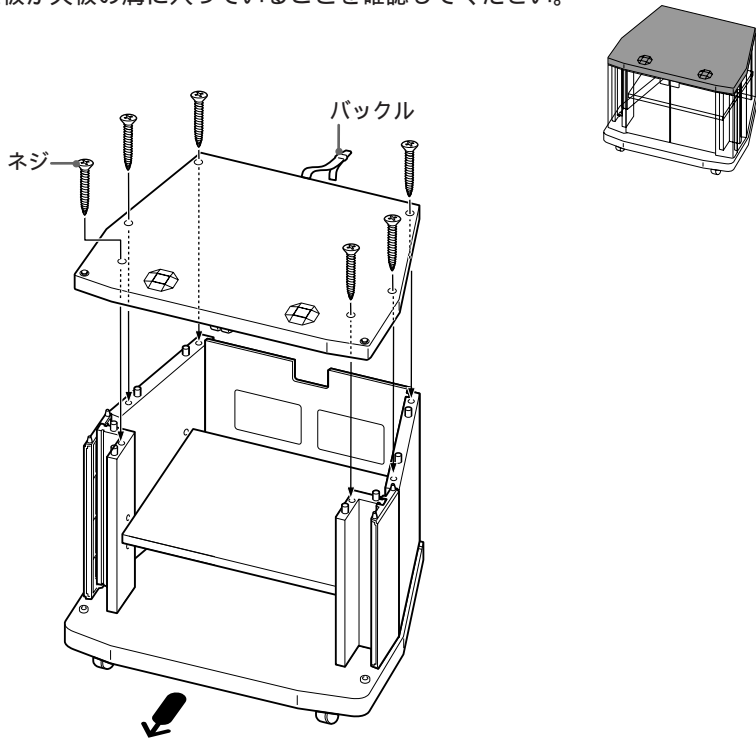
6 棚板を取り付ける。

棚板は扉を取り付けた後でも取り付けられます。



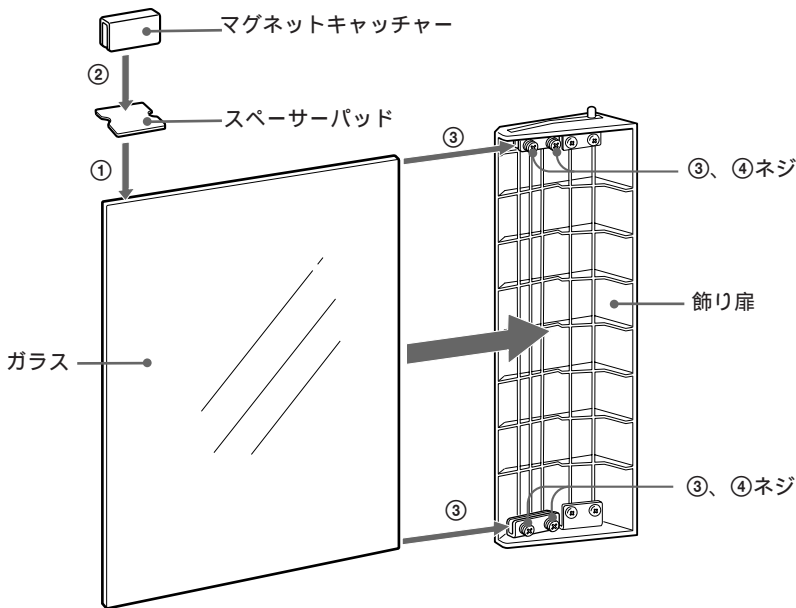
7 天板を取り付ける。

裏板が天板の溝に入っていることを確認してください。



8 ガラスを飾り扉に取り付ける。

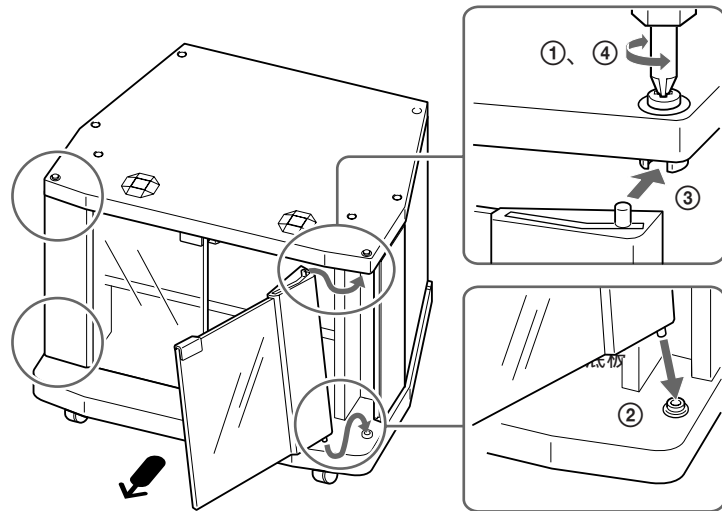
- ① スペーサーパッドをガラスに貼る。
- ② マグネットキャッチャーをはめ込む。
- ③ 飾り扉のネジをゆるめて、ガラスを差し込む。
- ④ 飾り扉のネジを締める。
- ⑤ 反対側の扉も、①～④と同じようにして、取り付け。



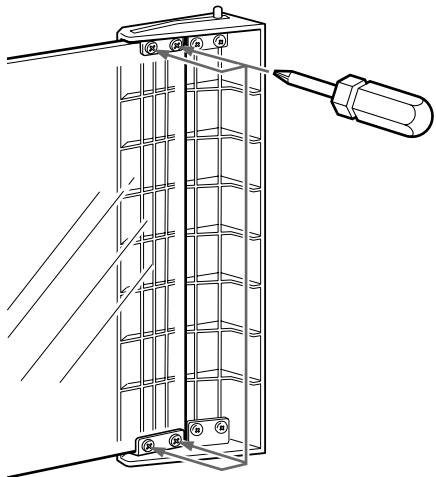
9 ガラス扉を取り付ける。

扉が開いた状態にして、取り付けてください。

- ① 天板の軸受け部のネジをゆるめる。
- ② 飾り扉の軸を底板の軸穴に差し込む。
- ③ 飾り扉の軸を天板の軸に入れる。
- ④ 扉を手で押さえながら天板の軸受け部のネジを締める。
- ⑤ 反対側の扉も、①～④と同じようにして取り付け。

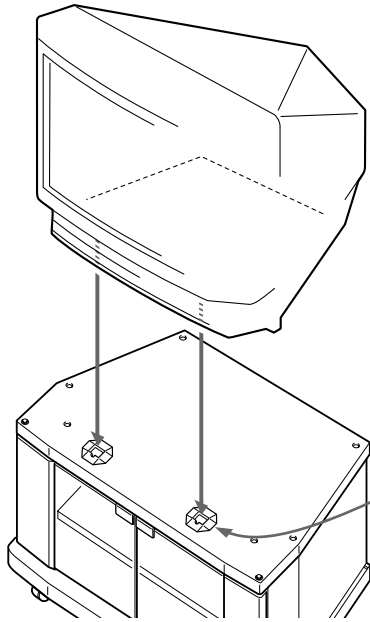


ガラス扉の位置を調整するときには



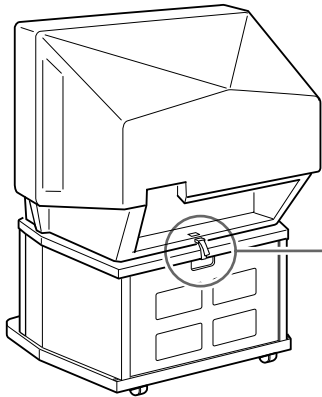
組み立て後、ガラス扉の位置が合わないときは(左右のガラスに段差があるとき)ガラスを固定している4本のネジをゆるめて調整してください。

テレビの置きかた



- ・テレビの足が位置決めストッパーの穴に入るように正しく載せ、ストッパーの上にのり上げていないか、確認してください。
- ・テレビの電源コードを、天板とテレビの足の間にはさまないように注意してください。コードに傷がついて、火災や感電の原因になります。
- ・テレビを載せるときは、ガラス扉にテレビが当たらないようにご注意ください。

転倒防止について



このテレビスタンドには、テレビの転倒を防ぐためにバックルが付いています。テレビを載せたら、必ずバックルを差し込んでください。

